

令和6年第2回（2月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年2月22日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 山陽小野田市役所 本館3階 小会議室

3 出席委員 教 育 長 長 友 義 彦 職務代理者 砂 川 功
委 員 竹 田 佳 枝 委 員 中 村 眞 也

4 欠席委員 1人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤 山 雅 之	教育次長兼社会教育課長	矢 野 徹
教育総務課長	浅 川 縁	学校教育課長	長谷川 裕 司
埴生幼稚園長	桶 谷 美 和	学校給食センター所長	和 田 英 樹
中央図書館副館長	増 富 久 之	歴史民俗資料館長	若 山 さやか
中学校長会長	山 本 時 弘	書 記	野 原 嵩 恵

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

① 議案第4号 山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について (教育総務課)

② 報告第3号 第2回山陽小野田市文化財審議会会議の結果について (社会教育課)

(6) その他

① 県費負担教職員の人事について (学校教育課)

② 市職員の人事について (教育総務課)

③ その他

(7) 閉 会

開 会

○長友教育長

それでは定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による2月の定例教育委員会会議を開催いたします。

本日は末永委員が欠席ですが、委員が過半数出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

会議録署名委員の指名

○長友教育長

会議録署名委員の指名をいたします。砂川委員、竹田委員よろしくお願いいたします。

会議非公開の決定

○長友教育長

本日の議事日程の「6. その他」の「県費負担教職員の人事について」及び「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思います。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

ありがとうございます。賛成多数と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○長友教育長

報告事項に入ります。

まず私の方からご報告いたします。私からは2件報告いたします。

山陽小野田市PTA連合会父親母親研修会に参加しましたので、その報告をいたします。会の祝辞の中では「人生100年時代と言われる今、大人も子どもも学び続ける必要があること。学ぶときは1人よりも2人、3人と多くで学ぶ方が、続けることや楽しむことにつながる。そうした学びが求められる中で、このPTAにおいて研修を開く機会があるということの意味。さらに、大人が学んでいる姿を子どもに見せることがとても重要であること」をお話いたしました。実践発表では有帆小学校の取組について発表されました。コロナの影響があり、PTAの活動も少なくなっていると色々なところから耳にしますが、有帆小学校では地域との連携した活動を計画し、積極的に活動されていきました。子どもも保護者も地域の人も笑顔になる取組で、子どもだけでなく大人の楽しさも伝わって

きました。地域・家庭・学校の連携が叫ばれる中、先進的な取組であったと感じました。PTAは子どもの健全な育成を図ることを目的として、保護者と教員が協力して、学校・家庭に関する教育に関し理解を深め会員相互に学び合い、活動を行う社会教育団体です。有帆小の取組はPTAの原点に立ち戻った活動であるというふうに感じました。

続いて山口東京理科大学で実施されました特別講演会についてです。講演会では優しい日本語リズム代表の吉開章氏による「やさしい日本語で、やさしい社会を 薬局・病院に外国人がやってきた！！さてどうする？！」をテーマとしたお話しでした。一般社会に向けた投げかけではありますが、山陽小野田市においても日本語を母語としない子どもが転入することがあります。今後は国際化が進み、こうした子ども達が増えていくことも予想されますので、とても興味深く講演を聞いておりました。ぜひ校長先生をはじめ教員も優しい日本語について興味を持って学んでいくことや、日本語教育について基礎的な理解・方法論を研修することが必要であると感じました。

以上で私の報告を終わります。私の報告についてご質問やご意見はございませんか。

○中村委員

はい。

○長友教育長

はい。

○中村委員

今教育長から理科大の「やさしい日本語」についての講演があったということですが、学校では外国出身の子ども達が学んでいると思いますが、学校教育課ではどのように対応しているのですか。

○長友教育長

学校教育課長、お願いします。

○長谷川学校教育課長

はい。外国籍の子どもが本市でも数名在籍しております。その子ども達については、日本語指導が必要な生徒についてはその支援ができる体制を整えて、実際に支援しておるところです。例えば大学の先生が支援に入られる体制を取っていたり、支援ができる方に入ってもらうようにしたりするなど、中学校を卒業するまでに日本語が話せるというよりも、進学ができる程度まで日本語が習得できるように支援する体制を考えております。

○長友教育長

よろしいですか。

○中村委員

はい。

○長友教育長

その他ありますか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

市内の中学校で海外からいらした生徒さんがいらっしゃって、マンツーマンで日本語の指導等をされていました。卒業されて高校に進まれた方もいらっしゃるのですが、やはり語学や学問の点でなか

なか進学が難しかったので、家業の飲食アルバイトを始めますというような報告をいただきました。中学校の間手厚くしてくださるのですが、何か地域につないであげるとか別のルートでその子をサポートしていただけるようなシステムがあると、もっと安心して社会に出て行ける子どもを育てていくことになるのではないかな、と思っているのですが。その辺りはどうですか。

○長友教育長

日本語教室とか・・・

○藤山教育部長

そうですね、市民活動推進課に国際交流協会というのがありまして、そこで日本語教室というのがあります。昔から小野田の方でやっておりまして、つい最近山陽の方でもそういう教室が開講されて、それぞれ活動されています。留学から帰られた方がいらっしゃるようなので、そういった場で社会とのつながりを持つとか、日本人と交流するとかそういったことができるのではないかなと思いますので、そういった方がいらっしゃれば学校の方にも伝えて紹介したいなというふうに考えます。

○竹田委員

はい。分かりました。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

はい。

○砂川委員

今部長が言われた通りで、私もロータリークラブに30年以上在籍しておりますが、そこにロータリークラブが毎年寄附をしておりました。だからかなり歴史はあります。

○長友教育長

中学校長会の山本校長が来られていますので、学校での具体的な取組を報告してもらえますか。

○山本中学校長会長

はい。本校に海外から山陽小野田市に来た子がいます。県の事業で日本語教育のプログラムをリモートで実施するものがありまして、それに本校が手を挙げて。やはり段階を踏んだ形で指導していくことが大切だと感じました。課長さんが言われましたが、現在大学の方から本校の指導にも手伝っていただいております。卒業してからのことについても、部長さんが言われたような関係機関と連携を取っていただきたいと思います。この子も目標がありますので、目標達成に向けて今指導を継続しているところです。

○竹田委員

もう一ついいですか。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

子ども達に対しては学校の中で手厚い支援をされていると私は感じていますが、家庭に帰ると保護者の方が言葉が分からないため地域になじめなくて、というのが結構現状であると聞いております。関係機関でつないでいただいて、地域でも保護者のサポートもできるように細やかな対応ができると、子ども達が安心して成長していけると思いますので、その辺りもよろしくお願いします。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

はい。

○砂川委員

国際結婚をして子どもを連れて帰国したり、色々な立場の方がいらっしゃると思うのです。職業的な要素でいられているのか、別の関係でこちらに来られているのか。日本の社会というのはややこしくなっているので、そう簡単にいかないと思います。

○藤山教育部長

はい。

○長友教育長

はい。

○藤山教育部長

先程も申しましたように、日本語教室は以前小野田の方にだけあって、やはりそれでは十分ではないということになって山陽の方にもということになり、竹田委員さんがおっしゃられたようにそういった問題はあろうかと思います。地道ではありますがそういったところに来ていただくように関係部署が働きかけるとしますので、そこで少しずつ輪が広がっていけばなというふうに感じました。

○長友教育長

それとともに、PTAもあることですから、保護者同士の輪というのもやはり考えていく方がいいのかなと思いますので、いろんな方で連携しながら支えていくという体制を本市は考えていきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

よろしいですか。それでは藤山教育部長、お願いします。

○藤山教育部長

はい。私の方からは中学校部活動の地域移行についてご報告いたします。

地域移行について協議する山陽小野田市中学生の文化・スポーツ活動体制整備協議会の第1回が2月7日に開催され、スポーツ、文化団体関係者、学校関係者他17名の委員に、長友教育長から辞令が交付されました。私も委員として出席し辞令をいただきました。同協議会は教育委員会事務局の学校教育課と市長部局の文化スポーツ推進課を事務局とし、教育委員会事務局と市長部局とが一緒になって、令和8年度から土日祝日の中学校部活動の地域移行を目指して、新たな部活動のあり方や体制整備について委員の皆さんと検討することになりました。冒頭協議会の参与である長友教育長から、「少子化・生徒の部活動に対する価値観の複雑多様化など課題が山積している。新たな文化・スポーツ環境と子どもの居場所づくりに向けて、委員の皆さんと取り組んでいきたい」との挨拶がございました。協議会は会長である平中市スポーツ協会会長の進行のもと、初めに本市の中学校部活動の現状等について事務局から報告がありました。この中で市内6中学校では令和3年度に厚陽中女子バレー部が休部、令和4年度に小野田中の剣道部が廃部となり、ボランティア部と家庭科部が統合して総合文化部になったこと、令和5年度には小野田中と竜王中のサッカー部、小野田中と高干帆中の女子バレーが合同で活動することになったことなどの経緯を踏んで、現在合計57部となっていることなどが報告されました。そのご意見交換・質疑があり、事務局からは、地域移行はできるところから進めていくこと、それと、部活動改革の軸は子ども達の体験機会を減らすことなく、何が取り組めるかを考えていくこと、今後を見据えて競技種目ごとに分科会を開催して、競技団体等にも広く意見をいただくような機会を設けたい、といった協議会の方向性などが示されました。最後に事務局からは各委

員に対し、今回の協議内容を各団体に持って帰っていただき意見を集約したものを改めて発言いただく機会を次回の協議会で予定していることの説明があり、了承されました。

私の方からは以上でございます。

○長友教育長

はい。部活動の地域移行について報告がありました。ご意見ご質問等はございませんか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

竹田委員。

○竹田委員

はい。このことにつきましては教育委員の立場だけでなく、地域の者としてもとても興味・関心を持っております。常日頃学校訪問に伺っても、中学校の先生方の部活動によるご負担というのがかなりのウェイトを占めているという現状もあります。地域移行にして地域の方が今まで中学校でやってきたことだけではなくて、様々な分野で活躍しておられる方たちの新しい部活動のあり方なども生まれてくると良いなと思いますし、とりあえず土日祝日ということなので、これが学校現場で同じように行われるのか、それとも別の場所で行われるのかということに関しても、何かがあった時の体制とどうか、事故があった時はどうするのかとか、せっかく土日祝日に先生方から離れたのであればその辺りは徹底して方策を考えていただきたいなと思います。以上です。

○中村委員

はい。

○長友教育長

中村委員

○中村委員

実際小規模の中学校では部活も限られた状態で活動している、という状況で、少人数で活動していて他校で合同チームもできないという状況も生まれています。こういう状況で令和8年度から部活動を移行するといった時に、なかなかすんなりといかない現状が出てくるのではないかと思います。その時の対応というのはしっかりとやっていただかないと、どこに行ってもいいのか分からない状態も出てくるだろうが、各学校が対応していただくしかないのではないかと思います。移行する団体、スポーツ指導をする指導者を含んだ団体というのが、この山陽小野田市にどれくらいあるのか、というのも我々はよく分からない。その辺をしっかりと把握して「ここにありますよ」とか。保護者の間で日ごろから関心がある方はそういう団体とつながりがあると思いますが、子ども達が分からない状態で進行しているという状況になっているようですので、しっかりサポートして移行していった欲しいなと思います。以上です。

○長友教育長

色々のご意見が出ましたが、それらを踏まえて会の方でご意見を言っていただければというふうに思います。では部長、よろしくお願いします。

続きまして矢野教育次長兼社会教育課長、お願いします。

○矢野教育次長兼社会教育課長

はい。私の方からは去る2月7日に善行賞表彰を行いました。その内容についてご報告いたします。表彰者につきましては、須恵小学校6年生の西山水都さん、同じく須恵小学校6年生の井手柚希さん、

そして同じく須恵小学校6年生の早崎菜乃さんです。この3名は令和4年度の冬頃に行われた学校での学年集会で、学校内のゴミが散乱していることが問題だということで取り上げられたことをきっかけに、学校を飛び出して須恵地域の環境整備にも関心を持たれました。その後近くの公園などにゴミが落ちていないか改めて注目したところ、たばこの吸い殻であったり、ペットボトルだったり、ビニールゴミなどが落ちていることに気が付き、ゴミ拾いを開始したということです。それ以降ゴミ拾いは1週間に1回から2回のペースで学校が終わって帰宅後に、1時間程度行われておりました。こういった彼女たちの活動が次第に周りにも影響を与えて、他の児童達も彼女達に倣ってゴミ拾いを行うようになりました。またそういった彼女達の姿を見て、地元の地域住民の方たちが、学校や教育委員会に賞賛の言葉をいただくようになったことから、学校から推薦をいただきまして、表彰をしたものでございます。今回の表彰につきましては山陽小野田市青少年善行賞表彰規程第3条第1項第1号に規定されております、「学校、家庭又は地域において、規律を守り、他の信頼を得る等他の模範となる行為」に該当するとして表彰したところでございます。彼女達に聞くと、来年は中学校に上がりますが、ボランティア部に入りこれからも地域のために活動したいというふうにお話をしていました。教育委員会としてもこういった行いをしている児童生徒を積極的に表彰させていただきたいというふうに思っております。

それともう一件、春の花壇コンクールにつきまして、今募集をしているところです。この冬の気温の乱高下であったりとか、異常と思われるような気象状況があったりという中で、各団体はとても苦労されているというお話を聞いてはおります。花を育てる過程でつながり等も生まれてくるとは思いますので、色々なご苦労がある中ですがぜひ多くの方に応募していただきたいというふうに思っております。審査は4月頃に行う予定です。それから続けて秋の花壇コンクールに繋がっていくわけなのですが、社会教育課といたしましてはこの活動につきましては引き続き行っていきたいというふうに考えております。

私からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関してご意見ご質問等はございませんか。よろしいですか。

では続きまして浅川教育総務課長、お願いいたします。

○浅川教育総務課長

はい。教育総務課から2点、ご報告させていただきます。

1点目は教育総務課関係の事業についてご報告いたします。小学校の遊具についてです。今年度は有帆小学校の鉄棒について、経年劣化による更新工事を行い、1月30日に工事が完了し、現在使用していただけるようになっております。

続いて2点目が共催後援の報告です。別紙共催後援一覧をご覧ください。この1か月間に教育委員会が共催後援を承諾した行事等の一覧となりますので、ご覧いただけたらと思います。

教育総務課からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

遊具の来年度の計画というのはあるのですか。

○浅川教育総務課長

来年度は計画しておりません。

○長友教育長

また各学校の要望等も聞きながら、計画を立てていただけたらと思います。

続きまして、長谷川学校教育課長をお願いします。

○長谷川学校教育課長

はい。それでは学校教育課からご報告いたします。

最初に感染症の状況についてご報告いたします。1月のインフルエンザの罹患者は319人、2月に入っても本日までに257人と依然として罹患者が多い状況が続いております。新型コロナウイルス感染症について1月は254人、2月は本日までに152人と年明けの感染拡大からやや減少している状況です。その他の感染症は大きく広がる状況は見られません。これから暖かくなりますので、食中毒など感染予防に努めてまいります。

続いてメダル栄光の受賞についてです。この賞は山口県が学校教育や社会教育における芸術・文化・科学技術等の活動を振興することを目的として、世界的および全国規模での優秀な成績を収めた者に対して、その功績を讃える賞になります。この度高千帆中学校2年、西野真央さんが愛鳥週間のポスターで文部科学大臣賞を受賞したことから、2月14日にこの賞を受賞いたしました。こうした中学生が全国規模で活躍できるということを、大変うれしく思っておりますし、他の児童生徒につきましても多様な場面でこうした力が発揮できるよう、学校の教育活動の活性化を図っていききたいというふうに考えております。これが前に紹介された鳥の絵でございます。

次に本市で行われました、教員の魅力を伝えるセミナーについてご報告いたします。ニュースにもありますように、ここ数年の教員不足は深刻で、本市においても必要な教員を当てられないという状況が起きております。この問題の解決には今働いている教員の動きをコントロールするだけでなく、教員免許を持ちながら今働いておられない方々を学校へ導く働きかけが必要です。山口県では、教員になるなら山口県でという、教員を学校へ導く研修を行っております。本市ではそのプログラムを利用して、これまでに10月27日、1月12日、2月16日の3回実施し、計12名にご参加いただきました。このセミナーでは教員の業務内容だけでなく、福利厚生など教員に関わるあらゆる情報を提供しております。3回目は高泊小学校で開催し、実際の授業の様子や先生へ直接質問に答えてもらう場面を作るなど、大変好評を得ております。今後もこうした研修を通して教員になる人を繋げていく取組を行ってまいります。

最後に二分の一成人式、立志式についてです。小中学校ではこの時期にキャリア教育の一環として、自身のこれまでの成長を振り返り、今後の自分の生き方を考える機会として、各学校で実施しております。二分の一成人式については2月16日に厚狭小、2月28日に有帆小、その他の全ての小学校が2月22日に実施することになっています。立志式は1月25日の厚陽中学校を皮切りに、3月12日の厚狭中学校まで、全6校が実施することにしています。今後も児童生徒が自分の人生をしっかりと見つめ生きていく一助となるよう、この取り組みの活性化を図ってまいります。

以上で学校教育課の報告を終わります。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問等はございませんか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

教員の魅力を伝えるセミナーに参加される方というのは、市内・県内、近県の方でしょうか。

○長谷川学校教育課長

はい。市の広報とLINEを使って募集をしておりますので、基本的には市内の方ですが、1名宇部の方がいらっしまったということを聞いています。

○竹田委員

はい、ありがとうございます。

○長友教育長

その他、よろしいですか。

はい、それでは桶谷埴生幼稚園長、お願いします。

○桶谷埴生幼稚園長

はい。埴生幼稚園です。よろしくお願いします。園の様子を3件、ご報告いたします。

初めに中堅教諭等資質向上研修についてです。受講対象者は通年の7日間の園外研修、そして10日間の園内研修の全てを終えました。今までの経験を基にさらなる知識・技術を習得し、自信となったようです。特に支援を必要な子やその保護者に対しての関わり方や技術については、集団生活の姿を基に若手職員に指導し、一緒に考えることで教職員の質の向上にもつながっているように思います。1年間の研修を生かして今後も安心・安全な園づくりについてさらなる知識を高め、教職員の育成指導にも期待しているところです。

次に昔の遊び交流会についてです。お手元の資料、「埴生幼稚園新聞」をご覧ください。埴生小学校から「昔の遊び交流会」に招待され、年長組が参加しました。地域の方がかるたやけん玉、あやとり、メンコ、おはじき紙鉄砲等色々な遊びを教えてください、1年生と一緒に楽しむことができました。昨年度まで一緒に過ごした懐かしい顔ぶれに少し照れていましたが、一生懸命にお世話をしてくれる姿に年長組も就学への期待が高まったことと思います。地域の方とも触れ合うことができ、良い経験となりました。また幼稚園から小学校への道中、危険箇所や信号の正しい渡り方など、交通安全についてルールを確認しながら実技指導する良い機会となりました。

最後に作品展についてです。子ども達が一年間取り組んできた個々の作品や共同制作、立体作品の展示を遊戯室において行いました。それぞれの年齢や季節、テーマなどに合わせて、材料・用具・色画用紙などの環境を準備し、子ども達が選びイメージし表現しています。製作の過程をドキュメンテーション風に掲示し、教育的内容や育ちや学びについて保護者の方にも理解を深められるようにしました。降園時に親子で一緒に作品展を見ながら、作品についてお話をしている姿が印象的でした。

埴生幼稚園からは以上です。

○長友教育長

はい。ただいまの報告に関しまして、ご意見ご質問等はございませんか。

○中村委員

はい。

○長友教育長

はい。

○中村委員

今園長先生が報告された「昔の遊び交流会」に私も参加したのですが。

○桶谷埴生幼稚園長

ありがとうございます。

○中村委員

子ども達が楽しそうに遊ぶ姿を見て、地域の者も元気をもらいます。小学１年生と一緒に遊ぶということが、お兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に遊ぶ姿は微笑ましいです。地域の者は元気をもらいました。ありがとうございました。

○桶谷埴生幼稚園長

小学校就学に向けて、憧れの気持ちも高まりました。ありがとうございました。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

今のお話で、幼小の交流会というのは本当に埴生幼稚園ならではの、という行事だと思います。なかなか他のところではできないことなので、少人数というところが、利点に代わるということで、こういう取組を増やして欲しいです。ありがとうございました。

○長友教育長

幼保小の連携はどのようにしていますか。今、交流会をやっていませんか。

○長谷川学校教育課長

小学校と幼稚園・保育園と交流会を実施しております。それは市内の各学校でも計画的に行っております。

○竹田委員

はい、一応存じておりますが・・・お芋ほりくらいは。でもコロナでちょっと停滞している感じがあります。なかなかこういう交流会は、たくさん幼稚園・保育園があつたりすると、ではどこが・・・という感じになったりするので、埴生幼稚園さんくらいの規模だと良いな、ちょっとうらやましいな、と思いました。

○桶谷埴生幼稚園長

埴生幼稚園だけでなく、桃太郎園とあおい保育園の３園の年長組を対象にしてくださっています。ただ、小学１年生や地域の方を知るだけでなく、横のつながり、１年生になってからもこんなお友達がいるよということをちょっと知れるというところが、埴生地域ならではのかなというふうに思います。

○竹田委員

そうですね。羨ましいです。

○長友教育長

今言われたように、地域の方も一緒になって、というところが一つのポイントかなとは思いますが、ぜひ今後も一緒に続けていただけたらというふうに思います。

○桶谷埴生幼稚園長

はい。

○長友教育長

はい、それでは和田学校給食センター所長、お願いします。

○和田学校給食センター所長

はい。学校給食センターです。よろしくお願いします。

今月は中学３年生が、もう一度食べたいと思う給食の「リクエスト献立」を多く提供しております。例えば毎年一番人気の揚げパンや、スパゲッティナポリタン、わかめご飯、鶏肉のから揚げ、チキンチキンごぼうなどです。給食を食べてもらえるのもあと少しとなりますが、いい思い出にしていいただければと思っております。

この他といたしましては、１月３０日に４年ぶりに保護者向けの試食見学会を開催いたしました。学校給食センターの設備や調理・衛生管理、食育への取組などについて説明をさせていただいた後に、試食をしていただきました。参加いただいた皆様の多くが衛生管理について特に興味を持たれていたようでした。また、今月９日は高千帆中学校１年生の生徒１１名が、職業訓練の一環ということで施設見学に来られました。午後からの見学となり、調理風景を見てもらうことができませんでしたが、食器や食缶の洗浄作業などオンラインで見えていただきました。

なお、学校給食については特段の支障もなく提供ができております。

学校給食センターからは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問等はございませんか。

いいですか。リクエスト献立は人気投票みたいに、子ども達にアンケートを取るのですか。

○和田学校給食センター所長

はい。そうです。

○長友教育長

前に中学生議会で、不人気の献立の話が出たように記憶していますが、そこまでは分らないですか。

○和田学校給食センター所長

もう一度食べたい給食ということでリクエストのアンケートを取っておりますので・・・

○長友教育長

すみません、なんかそういうのがあったことをふと思い出して。やはりこのリクエスト献立の日は残食が少ないという感じですか。残食が多い、少ないという話で出た話だと思うので。嫌いな、不人気の給食は残食が多いという話だったので、取ったらどうかみたいな話があったように思ったのですが。逆に言えば人気のある給食は残食が少ないのかな、と。

○和田学校給食センター所長

そうですね。はい、やはり少ないようです。

○長友教育長

はい。すみません、分かりました。

よろしいですか。それでは市立図書館、よろしくお願いします。

○増富中央図書館副館長

中央図書館副館長の増富と申します。今日は山本館長が急用のため、私の方から市立図書館の報告をさせていただきます。

「市立図書館関係資料」をご覧ください。まず【蔵書点検による休館】ですが、今週は厚狭図書館が特別整理期間に入っており、２６日まで休館しております。中央図書館は来週から３月４日までが休館となっております。

中央図書館の《１月・２月の行事報告》ですが、１月２１日（日）に「第５０回サイエンス・カフェ」を開催いたしました。５０回目の節目でしたので、池北理事長による理科大についての講演や、

事務局からの大学紹介等の内容で、通常より多くの高校生や中学生にも参加いただきました。

また、今月15日（木）に図書館協議会を開催し、今年度の活動報告や来年度の活動方針などを協議いたしました。

続いて、1枚めくっていただきまして《2月・3月の行事予定》をご覧ください。今月25日（日）に「第51回サイエンス・カフェ」を開催いたします。講師は薬学部准教授 寺尾 哲^{てらおあきら}先生で、「薬の効果、副作用と統計との関係」というテーマでお話をいただくことになっております。3月13日（水）「絵本でヨガ！」を開催いたします。また3月30日（土）には、「第14回 共生のまちづくり講座」として中途失明者の片岡艶子さんをお迎えし、「目が見えなくなって見えてきたもの」という題目で講演をいただきます。

また展示では、3月5日から選挙管理委員会による「明るい選挙啓発作品展示」を、さらに健康増進課と合同で自殺対策強化月間にちなんだ展示を行います。この「自殺対策強化月間にちなんだ展示」は、厚狭図書館でも行います。

次に厚狭図書館の《2月・3月の行事予定》をご覧ください。3月2日（土）に「あさとしょかん 春のぼんまつり」を開催いたします。今回のメインはシンガーソングライターの落合さとこさんをお招きしてのコンサートとなっております。

図書館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問等はございませんか。よろしいですか。

それでは若山歴史民俗資料館長、よろしくお願いします。

○若山歴史民俗資料館長

はい。歴史民俗資料館より3点ご報告いたします。

まず工事についてです。エレベーター工事は予定通り進んでおり、3月1日より開館予定となっております。エレベーター工事と並行して、1階の空調機の入替え作業も行っておりますが、こちらも3月1日より使用できるようになります。

次に、出前授業についてです。この1か月、竜王中学校1年生のふるさと学習、本山小学校・厚狭小学校・厚陽小学校への出前授業、本山地域交流センターでの歴史講座を行いました。竜王中学校1年生のふるさと学習では、生徒が自分たちでテーマを決め、あらかじめ調べてきたことについて質問をし、それに答えるという形でした。グループごとにテーマが違いますが、話がつながっていく面白さに気が付いたようでした。歴史の調べ方などについても簡単ですがお伝えすることができ、歴史を学ぶ楽しさを感じていただけたら嬉しいです。厚狭小学校では市の歴史と文化財について授業を行いました。なかでも寝太郎については、事前に歩いて学習していたそうで、ふるさとの歴史を身近に感じていました。本山小と厚陽小では昔の道具を持っていき、実際に使ってみました。持ってきてほしいとリクエストのあった「わらじ」は、「足の裏が痛そうだ」とこわごとと触っていました。ふすま・障子・手ぬぐいが分からないという子が多く、大切なものが失われるような危機感を持ちました。一方で、お爺さんの家にかまどがある、という子が今度タブレットで撮影してみんなに見せると話したことで、皆も家に古い道具などがあればタブレットで撮影しましょう、という話もできました。子ども達からフィードバックしたことを歴史民俗資料館としてできる授業づくりや展示などのヒントに見直していきたいと思いました。

最後にお配りしたチラシについてです。常設特別展示「10分でわかる 山陽小野田市の歴史」を3月1日から開始いたします。理科大の新入生や山陽小野田市へ転入された方へ、市の歴史を簡単に

学んでもらおうという意図で始めた展示で、毎年理科大と市民課にご協力いただき行っています。

歴史民俗資料館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問等はございませんか。

いいですか。今まで出前講座、小学校が多かったと思うのですが、この度竜王中学校が・・・

○若山歴史民俗資料館長

はい、そうですね。竜王中学校に来ていただきました。

○長友教育長

竜王中学校が来て学んだのですね。

○若山歴史民俗資料館長

はい。

○長友教育長

中学生の来館率は確か低かったと思うので、ぜひこうした話も中学校長会長もいらっしゃいますので、校長会などでぜひ話をしていただき、学びの場にしていただけたらと思います。よろしくお願いします。

○若山歴史民俗資料館長

よろしくお願いします。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

今伺ったタブレットを使ったということですが、これは本当にこれまでにはなかった取組なので、どんどんこれからも広がると、わざわざそこに行って見なくても体験できるという面白さがあっていいなと思いました。よろしくお願いします。

○長友教育長

はい。山本中学校長会長。

○山本中学校長会長

はい。歴史民俗資料館の資料とかは撮影してもいいのですか。

○若山歴史民俗資料館長

はい。もちろんです。撮影しても大丈夫です。

○山本中学校長会長

それは助かります。

○若山歴史民俗資料館長

実際に見学に来られて撮影してもらっています。普段はイラストを一生懸命に描いていたのですが、なかなか時間内に描ききれないという子がいましたので、タブレットを活用するのもいいかな、と思っています。

○長友教育長

はい。ぜひ活用の方、お願いします。

それでは山本中学校長会長、お願いします。

○山本中学校長会長

はい。中学校の状況について3点ほど報告いたします。

まず1点目は2年生を中心に新生徒会の発足と活動についてです。どの中学校も今学期から新生徒会が活動を本格化しています。本校では4年ぶりに男性の生徒会長が選出されました。そして先月の全校集会ではこの新生徒会長が新たな活動目標「開花～自分のアイデアや才能を発揮しよう～」を発表するとともに、前生徒会の活動を継承して、本校の学校経営ビジョンの重点目標「確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成」に着眼して、3本の重点目標を掲げてくれています。達成に向けた生徒会運営ビジョン、キーワードをそれぞれ「向上心」「連携力」「習慣化」として、プレゼンテーションや資料配布により可視化して発表しています。今年注目したのは、今月の活動目標にそのキーワードの一つ、中軸を「習慣」として定め、7つある専門委員会の望ましい習慣化を図る目標を設定して活動を進めています。一丸となって同じ目標に具体的に取り組んでいこうと熱く語る役員たちの姿に、校長の私も襟を正すというか、身の引き締まった瞬間です。現在は生徒会と実行委員会が来月1日に全校集会で行う3年生を送る会のアイデアを練って、様々な企画準備に取り掛かっています。

2点目は市の教育委員会を中心に提供をいただいている、子ども市民講座への取組についてです。先ほどお話がありましたように、今キャリア教育に1・2年生は力を入れているところですが、2年生は立志式に向けて「オートレーサーの体験談」を聞かせていただいております。夢の実現に向けた取り組みだとか、生き方について子ども達は色々と質問していました。1年生は市のかるた協会の御協力を得て、県競技かるた協会会長の今村美智子さん達が本校に来ていただいて、デモンストレーションを実施しています。そして子ども達は競技かるたの疑似体験を行いました。こうした本市のかるたの取組から、生徒達が「かるたクラスマッチ」を開く学年も生まれてきています。なお、第11回全国競技かるた大会が本年度11月に下関で開催されておりましたが、E級部門で本校1年の安達志織さんが全国2位となっております。この23日（金）に市の芸術文化奨励賞を授与されることが決まっております。また今日、市高齢福祉課地域包括支援センターの協力を得て老化と認知症に関して、劇・グループワーク・ロールプレイを交えた講義を、今まさにいただいているところです。こういった地域教育資源を活用させていただくことが、どの中学校でも効果を生みます。引き続きお願いしたいと思います。

3点目は今月17日（土）18日（日）に不二輸送機ホールで開催した山陽小野田市美術展覧会についてです。幼保小中の園児・児童生徒の優秀作品を展示して、保護者や地域の方々、初日394名2日目515名、900名を超える観覧をいただいております。県美術展覧会で推奨・優良・入選に輝いた作品も一部ですが展示しました。

最後に現在どの中学校も今月末には1・2年生の学年末テストを実施します。3年生はいよいよ3月6日の公立一般入試に向けて、今週20日（火）から出願受付が開始され、26日午前10時締め切りとなっています。

先ほどお話がありました3年生の給食リクエストメニュー、生徒だけでなく教職員からも好評です。リクエストになかったのですが、最近サバのカレー煮、これは初めてのメニューらしいのですが、これに皆はびっくりしていました。見た目はサバの味噌煮風だったのですが、食べるとカレー風味でとても喜んでいました。それと雑炊はセンターになって出たことがなかったのですが、今週鶏雑炊ができました。これも好評でした。またよろしくお願いします。

以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問等はございませんか。

○中村委員

はい。

○長友教育長

はい。

○中村委員

山本校長に聞いてみたいのですが、生徒会長が4年ぶりに男子の生徒会長ということですが、私が住んでいる埴生中学校は20年くらい男子ばかりです。高千帆中は男子の立候補はいないのですか。

○山本中学校長会長

立候補はいるのですが、人気のあるのが女子のようで。

○中村委員

埴生中の場合は女子の立候補がほとんどない。高千帆中では女子の方が人気があるのですか。

○山本中学校長会長

高千帆中の女子の成長が少し早いですね。色々な意見を取りまとめており合いつけて導く、というのは女子生徒の方がうまいですね。男子生徒はやんちゃなところがあるので、もう少し経験していくともっと……。ですが今回選ばれた生徒会長は、その点良いので期待しています。

○中村委員

ありがとうございます。

○長友教育長

今は男女問わず、その人の選挙の時の演説等で選ばれるという傾向ですかね。他の中学校でも女子の生徒会長というのはよく見たり話を聞いたりするので、やはりそういったところで子ども達も選んでいるということが言えると思われます。他はよろしいですか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

この度どこの中学校でもされていると思うのですが、地域の者が面接員を務め、今年初めて小野田中では地域の人達が務めさせていただきました。本当に皆さん一生懸命で、そして生徒の皆さんも初対面の私たちに何を言われるかとドキドキ感があったと思うのですが、皆で3年生を応援しているという気運がすごく高まって、地域としても非常に良い体験させていただいたし、生徒の皆さんからも私立に合格した生徒さんから「皆さんのおかげで・・・」という言葉をいただいて、本当にとてもありがたい思いをいたしましたので、感謝しております。

○山本中学校長会長

ありがとうございます。ぜひ高千帆中学校は人数が多いので、何人にもお願いしなければならないので、ぜひ高千帆中学校にも来ていただきたいです。

○竹田委員

呼んでいただいたら。ありがとうございました。

○長友教育長

教育委員会といたしましても全面的に協力いたしますので、お声をおかけいただけたらと思います。

○山本中学校長会長

ありがとうございます。

○長友教育長

それでは（３）その他に入ります。何かございますか。

次回の会議日程

○長友教育長

それでは次回会議日程について、教育総務課長よろしくお願いします。

○浅川教育総務課長

はい。３月の定例会の日時と場所をお決めいただきたいと思います。事務局からは３月２１日（木）、午後２時から市役所本館３階大会議室、今日のお部屋の隣のお部屋です。こちらで行う案でお諮りします。

○長友教育長

はい。皆様よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり。）

はい、それでは前半を終了いたします。お疲れ様でした。

１４時５５分休憩

１５時００分再開

議案第４号 山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について

○長友教育長

はい。それでは議事に移ります。議案第４号「山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について」事務局をお願いします。

○浅川教育総務課長

はい。議案第４号「山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について」です。３ページの被表彰候補者の名簿をご覧ください。この度は学校教育で１名、文化財保護で１名、青少年育成センター補導員１名となっております。学校教育においては千々松正俊さんが登下校中の児童生徒の交通安全の見守り活動を１５年従事、次に文化財保護活動で瀬口哲義さんが１０年従事、そして青少年育成センター補導員として青木トシ子さんが１０年従事されておられます。

説明は以上です。

○長友教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

よろしいですか。学校教育の見守り活動も「教育の分野において１０年以上指導または従事した者」、という括りでいいのですか。第２条の・・・

○浅川教育総務課長

はい。第2条第1号に該当します。

○長友教育長

第1号ですよ。それではまた、今見守り活動をされている方は多いので、また今後こういった方がたくさん出てこられてどんどん表彰していくという形になるということです。その他、学校にたくさんボランティアで入られている方も多いと思うのですが、そういった方も含めてどんどん表彰の対象にしていきたいということです。

規定がありますので、規定に沿ってということになるかと思いますが、ボランティアで一生懸命されている方が多いので、是非ともお願いしたいなというふうに思います。

それでは採決いたします。議案第4号「山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について」を原案どおり決することにご異議はございませんか。賛成いただける方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい。議案第4号は可決されました。

報告第3号 第2回山陽小野田市文化財審議会会議の結果について

○長友教育長

次に報告第3号「第2回山陽小野田市文化財審議会会議の結果について」の説明を、事務局お願いします。

○矢野教育次長兼社会教育課長

はい。では次第の7ページをご覧ください。第2回山陽小野田市文化財審議会の結果についてご報告いたします。

去る11月21日に本年度第2回目の文化財審議会を開催いたしました。当日は6名の委員の方にご出席をいただいております。

議題につきましては2件ございます。1件目は「市指定文化財「糸根の松原」の指定範囲の変更について」です。糸根の松原の指定範囲を一部解除することについて諮問をいたしました。審議会といたしましては糸根地区公園の整備に伴い指定文化財の範囲を見直すことについて了承をいただきましたが、市指定を一部解除する代わりに、指定範囲外の松林を新たに指定することはできないだろうか、との意見や諮問した指定解除範囲について指定範囲が分断されることを懸念する意見も出されました。分断というのが、今までは国道沿いを消防の埴生出張所までずっと一つにつながった区域で指定しておりましたが、その間の松が切れている部分を指定から解除する案を提出し、そういった意見が出ました。こちらにつきましては次回の審議会までに意見をまとめまして、答申をいただく予定にしております。

2件目につきましては、国史跡「浜五挺唐樋」の保存活用計画策定についてです。第2回浜五挺唐樋保存活用計画策定委員会と文化庁調査官からの意見を踏まえて修繕した箇所について、説明をいたしました。今年度中には素案が完成し、来年度の当初には文化庁に承認をいただく予定となっております。

以上、簡単ではございますが説明を終わります。

○長友教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

○中村委員

はい。

○長友教育長

はい、中村委員。

○中村委員

まず1件目ですが、樹木医さんが松の診断をされたのですね。なにか特別に診断の報告はありましたか。

○矢野教育次長兼社会教育課長

はい。樹勢は衰えていないという報告をいただきました。ところどころ虫が喰っているところもあるということでしたので、それについては落とすなり樹幹注入をしたりという話がありました。今当該の資料を持っていませんのでどの程度の数かというのは言えませんが、概ね樹勢は旺盛だということとで報告はいただいています。

○中村委員

2点目ですが、指定範囲の一部解除ですが、西側のところどころ築山の状態になっている大きな松のことだろうと思うのですが、そこは伐採するのですか。

○矢野教育次長兼社会教育課長

消防署からすぐ横にかなり樹齢が長いと思われる松が2本ほど、10メートル間隔ぐらいであります。それは残します。

○中村委員

残す。

○矢野教育次長兼社会教育課長

残す方向で答申をいただく予定としております。その横に築山がありますが、築山の一部から天文館への入り口までの間に松林がない状態となりますので、その部分を解除というふうに考えております。図を示せば良かったのですが、図がなくてすみません。

○中村委員

私は埴生に住んでいますから、今の矢野課長の話で分かるのですが、みなさんはあまり詳しくないから分からないかも。

○竹田委員

大丈夫です。

○長友教育長

よろしいでしょうか。それでは採決いたします。報告第3号「第2回山陽小野田市文化財審議会会議の結果について」承認いただける方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい。ありがとうございます。報告第3号は承認されました。

その他

○長友教育長

それではその他に移ります。

(1) (2)につきましては非公開ですので後ほど審議させていただきます。

それでは(3)その他について事務局よろしくお願いします。

○長谷川学校教育課長

はい。それでは令和6年1月18日に行われました、令和6年第1回定例会 報告第1号「令和6年度全国学力・学習状況調査への参加について」において、教育長からタブレットを使ったC B Tの実施になるのかを問われたことについて、確認いたしましたのでご報告いたします。令和6年度の全国学力・学習状況調査は小学校は国語と算数、中学校は国語・数学となります。この学力に関する調査は全て、紙を使ったペーパーのP B Tになります。一方児童生徒の質問紙は全てタブレットを使ったC B Tでの実施になるということでございます。以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の事務局の説明について、何かご意見ご質問等はございませんか。よろしいですか。

それでは(3)その他につきましては以上になります。

県費負担教職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

閉 会

○長友教育長

それではこれで本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆さん、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

15時13分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和6年 2月 22日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印